

# 「平成 30 年度外国人介護福祉士候補者 受入事業に係る意見交換会」レポート

道では、外国人介護福祉士候補者の国家試験合格と道内での就業定着に向けた連携を図るため、道内において候補者の受入れがある 4 法人 5 施設の候補者と支援担当者等による意見交換会を開催しました。

(日程：平成 30 年 8 月 30 日 (木) 会場：(福) 清恵会 特別養護老人ホーム三陽)

## (福) 清恵会における EPA 候補者の受入・学習支援について

社会福祉法人清恵会の担当者から、法人・施設の概要、候補者の受入や学習支援について説明があり、「候補者はとても真面目で社交性があり、すぐに職員と打ち解け良好な関係で過ごしている」、「2 年目の今年は介護に携わる時間を増やしている」等の状況の報告がありました。



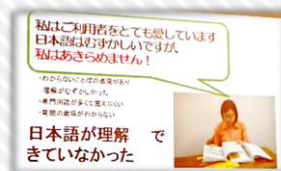
法人担当者による報告

## 第 30 回 (平成 29 年度) 介護福祉士国家試験受験に係る報告

平成 29 年度は、2 つの法人から 3 人の候補者が介護福祉士国家試験を受験しましたが、惜しくも全員不合格となりました。



医療法人アンリー・デュナン会の学習支援担当者から「候補者個々人にあつた指導方法を見つけることが肝要」と報告があつたほか、昨年度受験した医療法人喬成会の候補者本人から、日本語で



候補者による報告スライド

「日本語の理解が足りていなかったことが合格できなかった原因」と試験を振り返り、「来年の試験まであと 5 ヶ月です。私は御利用者をととても愛しています。日本語は難しいですが、私は諦めません」と次の試験への意気込みが語られました。

候補者による日本語での報告

## 意見交換

意見交換は支援担当者と候補者とに分かれて実施しました。

支援担当者の方々は、日本語の学習で苦労していることや工夫していること、候補者と地域の方々との関わりについて、国家試験受験に関するアドバイスなど、それぞれの施設で抱える悩みや好事例等を共有しました。候補者の方々は、それぞれの状況を語り合うなどしてこの機会に交流を深めていました。



意見交換会場での候補者の方々